

応仁の乱（1467〜77）に始まる戦国時代は、室町幕府の権力が著しく低下する中で、全国各地に戦国大名と呼ばれる勢力が出現して、戦いを繰り返しました。

京の都に隣接する近江は、東山道・東海道・北陸道などの官道（国が造り維持した道）がひしめく交通の要衝に位置していました。そのため、中世を通じて近江を支配した佐々木一族の六角氏と京極氏、京極氏の被官（上級武士に仕える家来）から台頭した浅井氏、さらに京をめざす戦国大名などが、在地の土豪（土着の豪族）たちを巻き込んで近江を舞台に争いました。その結果、近江には全国でもっとも多い約1、300か所に城や館・砦などが築かれることになりました。

彦根も例外ではありませんでした。南の六角氏と北の京極氏・浅井氏の境目に位置することから、佐和山城をはじめ高宮城・山崎山城・肥田城など市内全域の60か所に

城や館・砦などが設けられ、幾多の戦場となりました。

「天下布武（武力で天下を取る）」を掲げて天下人をめざした織田信長、豊臣秀吉、徳川家康らの戦国大名も彦根を重視し、彦根の地に足跡を残しています。

彦根市では、「井伊直弼と開国150年祭」に続く新たなテーマとして「戦国」を掲げ、それぞれの町が戦国時代にどのように関わってきたのかを振り返り、今後のまちづくりに生かしたいと考えています。

「わたしの町の戦国」を軸とした展覧会・講演会・見学会、そして学芸員の出前講座などを計画しています。自治会の集まりなどにご利用ください。

問い合わせ先 市教育委員会
文化財課 ☎26-58833
FAX ☎26-58809
Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp

出前講座を行います

市教育委員会文化財部では、学芸員が日ごろの文化財調査や研究活動の成果を、出前の形で市内各所に出向いて、「講座」をします。講座の時間は1〜2時間程度。料金は無料（資料費・材料費は実費負担）です。講座の日時などは、市文化財課に電話をいただければ調整します。出前講座の項目は下表のとおりです。

「戦国」関係

- ◆わたしの町の戦国を訪ねて
- ◆佐和山城とその時代（現地案内もします）
- ◆彦根に残る戦国の城（現地案内もします）
- ◆戦国時代の城跡を活用した町づくり
- ◆朝鮮人街道と山崎山城跡（現地案内もします）

「彦根城」「彦根藩」関係

- ◆彦根城を世界遺産に
- ◆彦根城の縄張り（現地案内もします）
- ◆彦根城と城下町の歴史
- ◆彦根藩主井伊家の歴史
- ◆大名屋敷と武士の生活
- ◆名勝「玄宮楽々園」の発掘調査
- ◆近世の大名墓所
- ◆井伊家伝来の大名道具
- ◆国宝・彦根屏風の世界
- ◆湖東焼の盛衰と美
- ◆井伊直弼—その人と生涯—
- ◆幕末・維新の彦根藩

「彦根の歴史・文化」関係

- ◆「発掘調査」速報
- ◆大地に埋もれた人々の歴史
- ◆体験「勾玉（まがたま）」づくり
- ◆荒神山古墳とその時代（現地案内もします）
- ◆彦根の古代寺院をさぐる
- ◆江戸時代の村の生業（なりわい）
- ◆中山道と高宮宿・鳥居本宿（現地案内もします）
- ◆明治・大正・昭和の彦根の暮らし
- ◆彦根のカナダ移民

